

入居企業紹介 その77

SICに入居されている企業をご紹介します。

SIC-1 302

NPO 南西 (特定非営利活動法人首都圏南西経営応援隊)



【代表プロフィール】

NPO南西(特定非営利活動法人 首都圏南西経営応援隊)

理事長 鮫島正英(さめじま まさひで)さん

中小企業診断士、ITコーディネータ

横浜で生まれ、横浜育ち。

昭和電線電纜株式会社での営業技術、製品開発、製造・品質管理、新規事業(社内ベンチャー)、部門経営、経営企画の経験を活かし、地域産業の活性化のためNPOを設立。

趣味は、クラシックギターと沢登り。

現在は、相模原事業所で一番人気があった素敵な奥様と厚木にお住まいの60歳。

【起業しようと思ったきっかけは?】

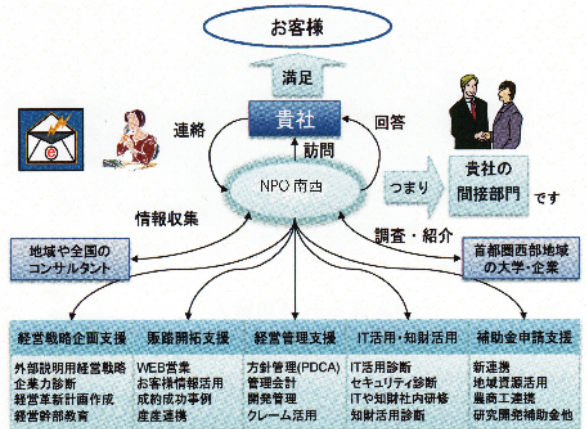
1973年に昭和電線電纜株式会社に入社後、製造現場、情報通信関係の技術営業、光ファイバーケーブルの実用化研究及び製造ラインの立ち上げ、更には通信機器開発のため大手電機メーカーの共同プロジェクトに加わり、その後、新規事業のイーサネット機器の開発を行うなど社内ベンチャーで新規事業を担当した。2002年から経営企画部門に異動し会社経営に携わってきた。入社後の技術営業の経験が、販売する楽しさと苦勞、お客さんに喜んでいただけることの大切さ、そして、研究開発や経営企画で役に立ったと言う。また、経営企画のとき社長と「この会社には中小企業の機動力と決断力を取り入れなければいけない。」ことを決めたことが、地域の産業支援活動に入り込むきっかけとなり、TAMA協会、関東経済産業局と連携し、自らの経験が地域の中小企業の役に立てればと思いNPO南西を設立した。

【事業紹介】

- ①企業の経営課題解決支援事業
- ②支援機関向け地域産業活性化支援事業
- ③教育研修事業
- ④情報提供事業

NPO南西のスタッフが持つネットワークを活用し、中小企業経営を

支援するとともに地域企業の連携による研究会などのコーディネータとして積極的な活動を支援している。



【課題となっていること、苦勞していること】

相模原地域の産業支援機関との連携を深めることが必要と考えている。NPO南西は、自らの提案力を活かし、産業支援機関に積極的に事業提案をして、連携事業を通じ、共に活動の幅、厚みを広げて行きたいと考えている。

【これからの夢または目標は?】

これからは、サラリーマン企業に替わり、機動力、決断力を持った中小企業の時代である。NPO南西は、地域の産業活性化をバックアップしていける組織、ニーズとシーズをつなぐことができる組織として、海外進出を目指す企業や中小企業のオンリーワン、企業ブランドづくりを支援したいと思っている。

1000社以上の地域中小企業への訪問を通じ、もっとマーケティング力、営業力を身につけていただくことが必要だと感じている。地域の産業支援機関と新事業展開を支援する専門化集団NPO南西が両輪で連携できれば、地域企業の産業活性化を継続的に続けることができると考える。活力ある中小企業が相模原に移転してみようと思わせる魅力ある相模原ブランドづくりに貢献したいと思っている。

NPO南西の愛称で地域に愛される支援組織を目指す鮫島氏は、高校時代から登山が好きで、今は、年数回の沢登りに一人で行くとのこと。スリリングな感覚と自然の力と偉大さを感じることができるとともに、一人、山で過ごす、人のぬくもり、やさしさ、大切さを再認識できると言う。地域の産業活性化のためのNPO南西には、そんな鮫島氏の人を大切にしたい、人のために役に立ちたい思いが込められている。

特定非営利活動法人 首都圏南西経営応援隊

SIC-1 302号室

TEL 042-730-7891 /FAX 042-730-7892

e-mail:info@npo-nansei.org

URL:http://www.npo-nansei.org



入居企業トピックス

●今月の掲載記事紹介

2月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1 と 2 に掲示していますので、どうぞご覧ください。

2月 1日 (火) 有限会社 啓

相模経済新聞 さがみのフロンティアに紹介されました。
「電子機器を通じて電波天文学の壮大なプロジェクトに挑む」

1日 (火) 株式会社 アムコ

相模経済新聞 地域特産品作り取組み

2日 (火) 株式会社 共立

日刊工業新聞 モノづくり”物流は今”で紹介されました。
「組み込み出荷 運搬コスト削減」

10日 (木) 株式会社未来先端技術研究所

相模経済新聞 さがみのフロンティアに紹介されました。
「薄膜材料評価では国内有数」

入居企業の皆様へご案内

3月の販売予定日 in SIC

くるまかふえ Sky Days

<http://skydays.net>

4日 (金)

9日 (水)

16日 (水)



営業時間 11:00 ~ 16:00

パン・飲み物ともになくなり次第終了です。

ベーグルショップ 米来

<http://www.bgr-shop.jp/>

米粉の和ベーグル



1日 (火)

8日 (火)

15日 (火)

22日 (火)

29日 (火)

営業時間 12:00 ~ 18:00

SIC トピックス

SIC3LABO 入居説明会開催のご案内



SICでは、今回新たにSIC-3を整備いたします。つきましては、下記日時に入居説明会を行いますので、ご案内申し上げます。

第一次入居募集：平成23年3月1日～3月31日

日時：平成23年3月10日 (木) 午後3時～4時30分

場所：さがみはら産業創造センター (SIC-2) 大会議室

第19回南西フォーラム 開催のご案内



大手・中堅企業の企業紹介や技術動向の講演と企業間の連携促進を目的とした個別面談を行います。また、経済産業省の中小企業支援施策についてもご紹介いたします。

講演：○関東経済産業局 ○昭和電線ケーブルシステム (株)

○東京航空計器 (株) ○ハイデンハイン (株)

日時：平成23年3月18日 (金) 16:00～20:00

場所：サン・エールさがみはら ホール、第1研修室

参加費：入場無料

The HINT

第4回見にミニセミナー、

経営総合相談会開催のご案内



新分野進出へのヒントとなるミニセミナーと、身近な個別相談として公的支援機関を一同に集めた経営総合相談を実施致します。

【セミナー内容】

○見にミニセミナー『新分野・経営革新を始める5つのポイント』

講師：湯浅 孝司 氏 (株)コンサラート・中小企業診断士

日時：平成23年3月25日 (金) 16:00～20:00

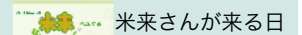
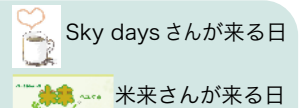
いずれも、詳細はSICホームページをご覧ください。

2011年3月

【今月の経営スケジュール (3月期決算の会社参考)】

経理：2月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成

税務：役員等所得税確定申告、事業年度内届



日	月	火	水	木	金	土
27	28	1 会議室5月分 予約受付開始	2	3 桃の節句 SIC-1 フィルター清掃 消防設備点検	4	5 SIC3 起工式
6	7 *SIC-1 エレベーター点検	8	9 SIC-2 自動ドア保守点検	10 SIC3LABO 入居説明会	11	12 SIC-1 床面定期清掃
13	14 SIC-2 ガラス清掃	15	16	17 SIC-2 空気環境測定	18 第19回南西フォーラム 産産マッチング会	19
20	21 春分の日	22 SIC-2 フィルター清掃	23	24	25 The HINT 第4回 見にミニセミナー 経営総合相談会	26 *SIC-2 エレベーター点検
27	28	29	30 SIC-2 消防設備点検	31	1	2

* エレベーター点検 SIC-1 9:30～11:00 SIC-2 9:30～11:00の間はご利用になれません。 お問い合わせは 生井 (内線1116) まで

「企業は人なり。」… 「SIC職場リーダー養成塾」

SICでは、人材育成事業として、いくつものメニューが用意されています。そのなかの一つが、企業において、次代を担う職場リーダーの育成を目的とした「SIC職場リーダー養成塾」です。今年度は第4期で、平成22年10月から、参加企業7社、参加者9名、全8回のスケジュールで実施されました。最終日であった2月25日には、参加企業経営者の皆様をお招きして、「成果発表会」が、サン・エールさがみはら2階会議室にて、開催されました。

SICでは、現場リーダーに求められている能力を「部下の特性を知り、潜在的に持つ力を見出し」「それを最大限に伸ばし、大きな戦力に育て」「力を結集し、組織で成果を出す」と考えています。さらに、この能力を養成するために、「3つの方針」を掲げています。

1. コミュニケーションスキルを鍛える
2. 他流試合で切磋琢磨する
3. 身近な課題を解決する

この方針のもとに、プログラムが作成されている訳です。(参照:図1) まさに、職場リーダーのためのプログラムです。10月22日のキックオフから5ヶ月。この時間のなかで、多様な対話が繰り返され、参加者一人ひとりの思考が練りこまれていきました。

そして、最終日は、「成果発表会」。参加企業経営者の皆様をお招きしていただきましたので、参加者の皆さんは、少し緊張しながらも、自社の課題解決に向けた実践結果、今後の行動計画について、発表してくれました。コーディネーターの若槻先生のサポートもあり、とても分かりやすく、情熱ある発表でした。リーダー養成塾の初日と比較すると一人ひとりの表情が、どんどん明るくなり、自身をつけていることがわかります。

ベストセラーになった「日本でいちばん大切にしたい会社」の著者である法政大学の坂本光司氏は、「企業の最大の商品は、「社員」という名の商品である。」「企業の競争力の源泉は、

商品そのものではなく、社員である。事実、類似した商品を扱う企業の業績の優劣や、同一組織の社員の成果の優劣を見ると、その格差の最大の要因は、企業力や商品そのものではなく、それを売る社員、サービスを提供する社員にあることがわかる。」(「経営者の手帳」坂本光司氏2010.11.あさ出版)とされています。

また、経営の神様と言われているP. F. ドラッカーは、その著書「マネジメント」の中で、「人のマネジメントとは、人の強みを発揮させることである。」

「人が雇われるのは、強みのゆえであり能力のゆえである。組織の目的は、人の強みを生産に結びつけ、人の弱みを中和することにある。」と説いています。

そして、「人こそ最大の資産である」と・・・ 因って、企業経営にとって、「人」の成長と育成は、最重要経営課題のひとつであると言えます。そして、SICが、人材育成事業に取り組む理由もそこに在るわけです。そのような意味から、今回参加された皆さんが、企業の中で、さらに強みを磨き伸ばし、生き生きと活躍され、所属企業の次世代を担ってくれることを強く希望しています。まさに「企業の財産」として、活躍して欲しいですね。

「人こそ最大の資産である」、「企業は人なり」その通りです。(図1)

	内容	
第1回	オリエンテーション(含宿研修)・オリエンテーション・自己紹介、自社紹介	
第2回	職場のコミュニケーション①(含宿研修)	組織の活性化を図るために、目標共有、協働意欲の醸成、行動意欲を引き出すための基本技術や活用方法を学びます。
第3回	職場のコミュニケーション②(含宿研修)	人の活性化を図るために、「話す」技術、「聞く」技術の基本や活用方法を学びます。
第4回	リーダー像を考える 身近なリーダーを目標として設定し、自身の目指すべき方向性を明確にします。	
第5回	職場の課題解決(1)	自社の課題の明確化を図ります。
第6回	職場の課題解決(2)	自社の課題の原因を推定します。
第7回	職場の課題解決(3)	自社の課題に向けた対策を検討します。
	実践	自社の課題解決に向けた対策を実践します。
第8回	成果発表会 自社の課題解決に向けた対策の実践結果、今後の行動計画をとりまとめ、発表します。	

わたしの居場所

目の前のことだけに集中し、あっという間に時間が過ぎ、心のエネルギーが満たされる、我を忘れて没頭できること、そんなことをいくつか持てればとても豊かな人生になると思います。

私のお気に入りの居場所・過ごし方の一例

- ゴルフ場で右に左にファーファー叫びながら、何も考えず自然を感じながらプレーに没頭する。プレー後に温泉につかる。至福のひとつ。
- 日曜日の午前中にNHKの将棋番組を見る。ぼかぼかの陽だまりの中で大好きなコーヒーをすすりながら対局者が指した手を言い当て、一人ほくそ笑む。
- 子供たちがサッカーやらバスケットやらに夢中になり、ボールを追いかけているのを見るのが好き、元気をもらう。
- はたまたサッカー日本代表を影の監督として応援する。アジアカップ、意識はカタール・ドーハのスタジアムに飛ぶ。夜中に絶叫!
- シネコンで映画鑑賞。登場人物に完全になり切り、スクリーンの中にトリップ。

どんな人ですか? SIC スタッフ編

今月のスタッフ【佐藤 則一】

いつか時間とお金に余裕ができれば、世界中まだ行ったことのない場所を旅したい、若い時に行った場所を何十年かぶりに訪問したい等々、完全な非日常を満喫したいのですが、そんなことができる日まで、日常の中に非日常を見つけ、楽しむことにしましょう・・・。



りっぱな梵鐘があり、朝夕につかれる鐘の音が心に響く。大晦日には地域の住民に除夜の鐘をつかせてくれる。日常の中の非日常を感じられる場所。

(今回は、稲垣 英孝 です。)

SICの歴史「SIC1号館誕生」



外観透視図

1998年4月の人事異動で人生の転機に出会う。それは、相模原市産業振興課への人事異動で産学共同研究開発支援施設整備の業務を言い渡された。この施設整備プロジェクトは、山本副主幹（現SIC専務取締役）がプロジェクトリーダー、小俣主任（現株式会社クリエイト代表取締役）が支援事業の企画、そして私が施設建設を担当した。

配属後直ぐに山本副主幹、小俣主任の両名が準備していた地域若手経営者の検討会に参加した。そこでは、施設の是非を問う会議が行われていた。「箱もの行政はやめて欲しい」、「産業界が使いやすい施設を」などの意見が交わされる中、その言葉を聞いた。「施設をつくるならばそのお金を研究開発資金として市内中小企業に配布したほうが良い」。その言葉に、市職員として11年間の自分の考えの甘さに気づいた。ある経営者が言った。「施設をつくるならば、われわれ企業人が経営陣として参加でき、事業スピード、市場性ある事業展開を行える株式会社を採用すべきである」。これが株式会社さがみはら産業創造センターの始まりである。

施設整備に対して、様々な意見があったが、相模原の産業活性化を図りたいとの地元経営者と行政の思いが一つになり、整備が進められた。SICの経営ビジョン「私たちは、この相模原の大地に新しい風を起こし 産業の息吹を育み 新しいビジネスの創造を目指します」には、当時のSICを支えてくれた人々の思いに応える誓いが込められている。

当初3年間を予定していた施設建設も1年間で完成する。地元経営者と行政で構成された役員会で次々と会社の重要事項が決定される。その中でSIC1号館の設計は2ヶ月半で完成する。この限られた期間の中、担当役員であった江越取締役（元地域振興整備公団）、権田取締役（権田金属

工業株）、設計会社、事務方で構成された施設検討会ではローコスト、パフォーマンス、スピードを重視し、決めた方針が「機能を絞る。迷ったら採用しない。」であった。このことが、後に年間400を超える視察者から「無駄を削り取った骨太のインキュベーションセンター」と絶賛される結果を生んだと思う。

設計、工事が進む中、入居企業の応募を始め、多くの経営者が面談に訪れる。「私をSICに入れないとSICは最大の損失になる」と話をされた経営者を今も鮮明に覚えている。入居希望者全員が事業拡大に向けた熱い情熱を持っていた。

オープン間もなくの数年、SICは365日24時間電気が消えることがなかった。安藤IM（現チーフインキュベーションマネージャー）とともに夜遅くまで1号館で仕事をしていると、入居企業の皆さんが入れ替わりオープンなカウンター越しに声をかけてくれた。仕事の話、家族の話、趣味の話などをしたことが懐かしく思い出される。「仕事は進まなかったけれども、今日も入居者の方と楽しい時間を過ごせた。」と、夜遅く交わした安藤IMとの会話が今も忘れない創業の思い出である。

企業の成長支援を通じ、SICも共に成長できると信じ、「できることをしよう。やれることに挑戦しよう。何かできるはず。」と生まれたばかりのSICでスタッフ丸積み上げてきた。「SICを卒業し、大きく成長した企業が、次の企業を育てる仕組みをつくりたい。」昨年、SICの卒業企業が株主になった。SIC1号館に植えた果樹が実を結んだことを実感した。

12年が過ぎ、経験も積み重ねてきた。新しい風も吹き始め、SICはさらに成長をしていくことだろう。しかし、これからも、この原点を忘れてはならない。

山本のめし屋レポート

中国料理 「離宮」

みなさんご存知、SICの隣「サン・エールさがみはら」にある中国料理店のご紹介です。今回はSICのスタッフと二人で「マーボー豆腐」「青菜入りスープ水ギョウザ」「蟹とレタスとチャーシューのチャーハン」「野菜汁ソバ」を美味しく食べました。ボリュームにも大満足。どれも本格的な中華料理です。そしてリーズナブル。コース料理も、中華弁当も多彩に揃っています。お客さんとの会食やパーティーに最適です。いろいろな注文にも気軽に応えてくれます。



■住所〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-20 ■Tel.042-700-8950 ■営業時間ランチ 11:30 ~ 15:00 ディナー 17:00~21:30
■定休日：水曜日・年末年始（12/29~1/3）・サン・エールさがみはら休館日（3月15日、4月13日、5月12日、6月以降は要確認）

編集後記

3月に入り、もう春だとオーバーコートを脱いだ途端、最後の（だといいなあ。）冬将軍がやって来ました。皆さん、風邪をひいていませんか？季節の変わり目です。また、新しい事業年度に向けた最後の追い込みでもあります。何事も身体が資本。どうぞ、身も心もご自愛のうえ仕事を頑張ってください。

萩島

★ご意見・ご感想をお待ちしています。（株）さがみはら産業創造センター（SIC） 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21
電話：042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ：http://www.sic-sagamihara.jp E-mail: koho@sic-sagamihara.jp